

急性心筋梗塞(AMI)の累積数

当院では現在までに700例以上の急性心筋梗塞を経験しています。

第一期の保存的治療、そして第二期での冠動脈内への血栓溶解剤注入による時期を越え、現在は風船による治療やステント植え込みによる治療(PCI)を行うことにより救命率を上げて来ました。

更に2002年11月からは末梢への血栓の飛散を防ぎ、末梢の循環不全による心機能の悪化を抑制すべく、末梢を保護した上でPCIを施行する方法を取り入れ、心機能の改善を来たすべく新たな治療法を導入しています。

尚、当院で行った研究で、急性心筋梗塞にて入院後すぐに薬物投与を行い、その投与を継続することで心機能を良好に保つべく、それらの治療も並行して行っております。

以上により、30%近くあった第一期、第二期の死亡率は、現在は10%を割りひと桁台となっています。以上のような経験をもとに更に急性心筋梗塞の治療成績を上げるべく、新たな取り組みも行っている状態です。

